

# 理科にもっと興味を

## 「東京工業大OB 「蔵前工業会」 琉大付小で出前授業

理科離れを防ぎ、理科を好きになってもらおうと、東京工業大学の同窓会「蔵前工業会」は22日、西原町の琉球大学付属小学校で出前授業「くらりか」を開いた。5年生110人が対象。県内では前年度から実施している。



児童はコイルモーターの磁石の関係について学んだ。製作などを通して、電気と「くらりか」は全国各地

コイルの巻き方を真剣な表情で学ぶ琉球大学付属小学校の児童＝22日午前11時20分、西原町の琉球大学付属小学校

地で500教室ほど無料で開いている。

講師を務めた平塚芳隆氏は電気の直流と交流の違いや磁石の磁場などについて講義した。その上でコイルモーターの製作に取り組んだ。コイルを作るのに苦戦していた児童らだったが、電気を流したコイルが回り始めると「回った、回った」などと歓声を上げ、互いのコイルの回転速度を競うように見せ合った。

上原未妃さん(11)は「コイルがうまく回らなかったけど、先生たちが教えてくれたおかげで成功した。理科は苦手だが、分かりやすかった」と笑顔で語った。

蔵前工業会沖縄県支部の天野輝久支部長は「理科が好きな子どもたちを育てたい。物作りにも興味を持ち、楽しんでほしい」と今後の活動に意欲を見せた。